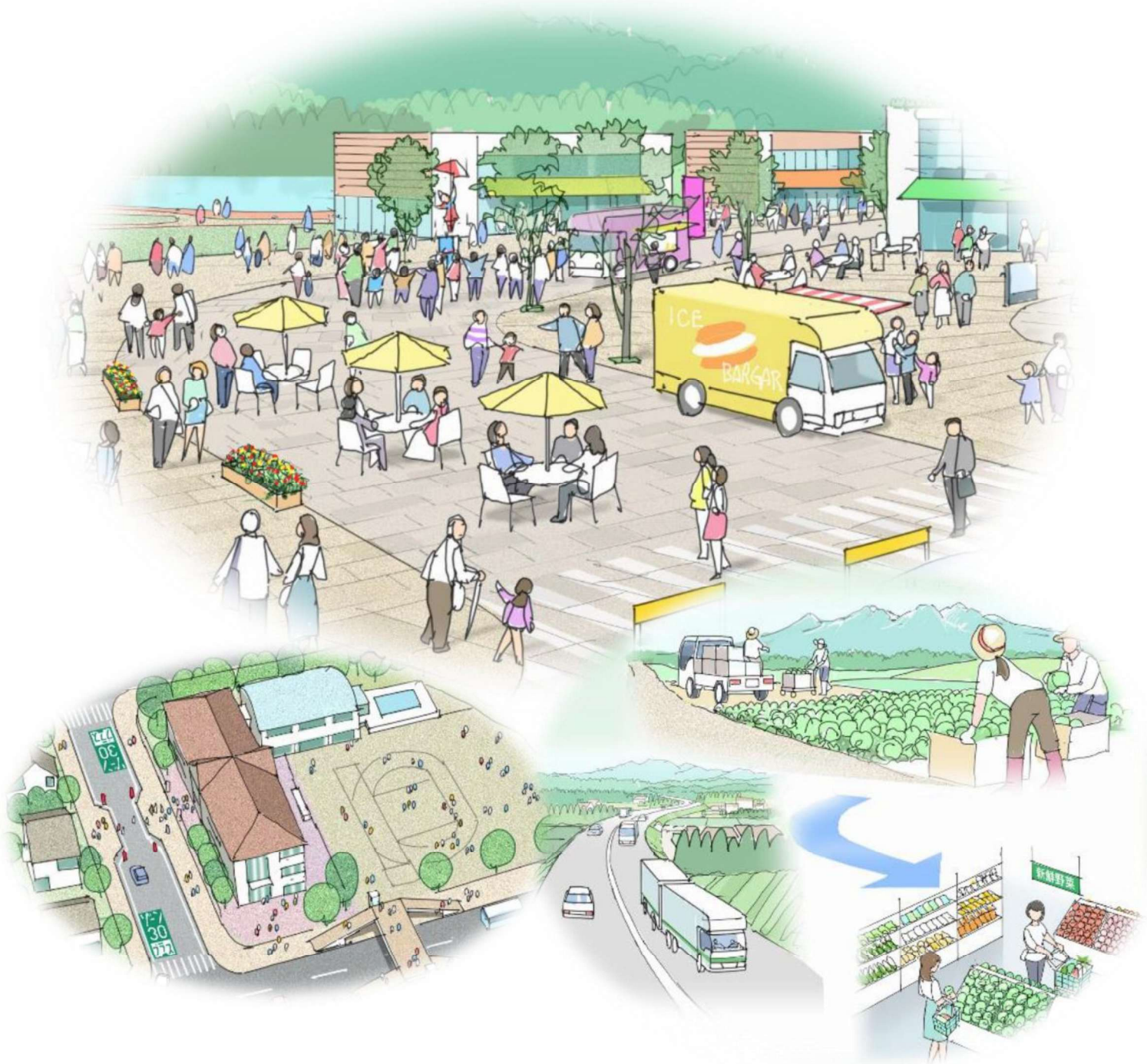


# 道路の整備に関するプログラム (2018年度～2027年度)



長野県  
令和8年3月



# 目次

1	道路整備の取組の方向性	1
2	重点分野と施策の展開	2
	重点分野Ⅰ 県土の強靱性	3
	重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし	6
	重点分野Ⅲ 観光や産業の振興	10
3	施策の目標	13
4	重点施策	15
5	事業箇所	20
6	事業箇所一覧表	21
7	事業箇所図	28
8	事業完了箇所一覧表	38

※ 表紙のイラストは、本ビジョンの基本方針のめざす姿をイメージしています。

# 1 道路整備の取組の方向性

長野県では、2018年3月に「信州みちビジョン」を策定しました。  
策定から5年が経過し、目標達成状況の確認と、社会情勢の変化を踏まえた今後の道路事業の方向性を、改めて県民の皆さまに示すことを目的に令和5年10月に改定しました。  
本プログラムは、これら既存計画に基づき策定しています。

## 基本目標

### つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり

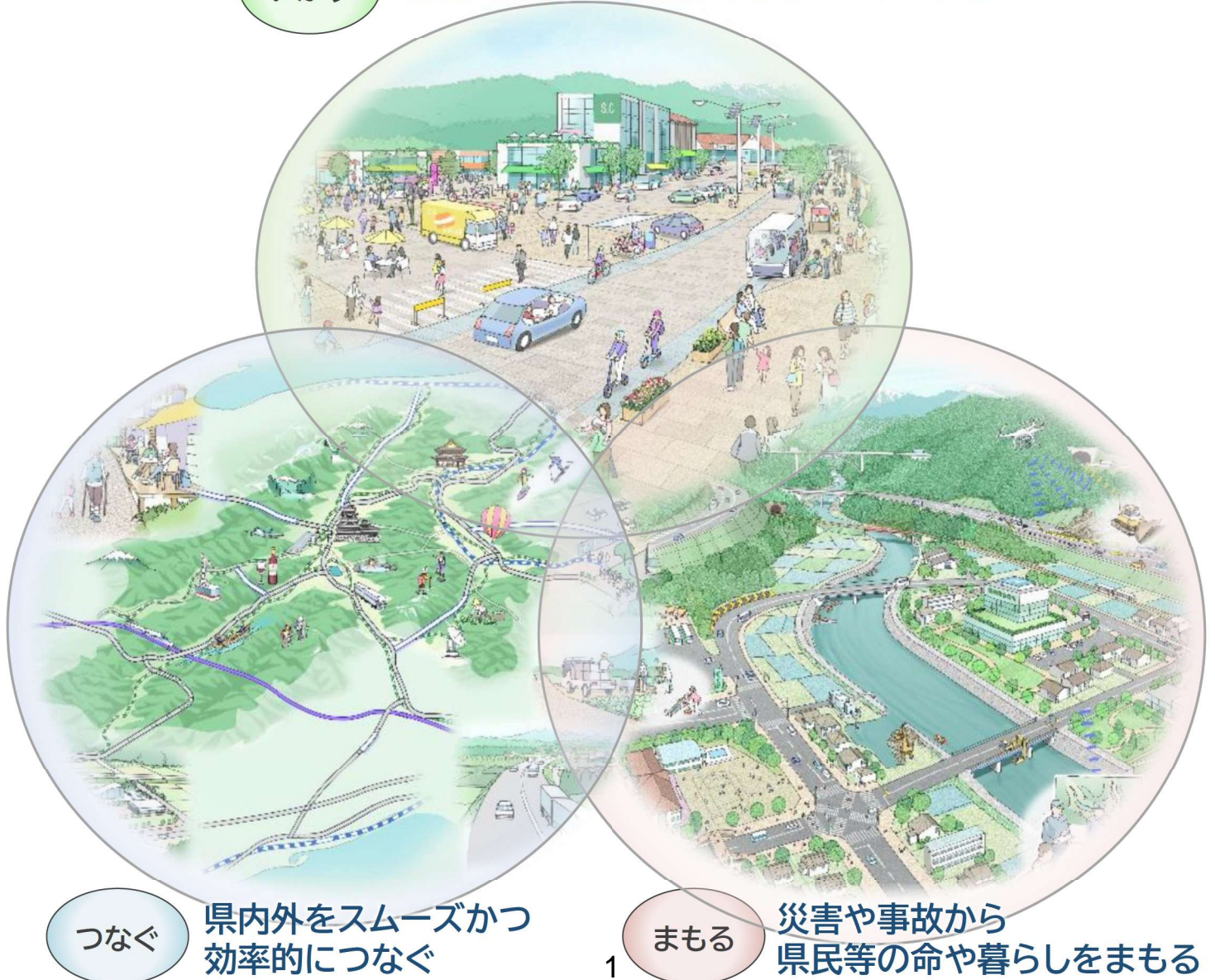
人口減少・高齢化の進行、事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保への対応など、限られた予算の中で解決するためには、道路を「つなぐ」ことに加え、命や暮らしを「まもる」こと、地域づくりへ「いかす」ことが求められています。

この3要素をバランスよく進めていくことが重要であるため、上記を本ビジョンの基本目標とします。

## 基本方針

本プログラムの基本方針は以下の3つとし、重点分野などを進める際に、それぞれの方針を反映させるものとします。

いかす 道路の多面的な機能を地域づくりへいかす



つなぐ

県内外をスムーズかつ効率的につなぐ

まもる

災害や事故から県民等の命や暮らしをまもる

※ イラストは、基本方針のめざす姿をイメージしています。

## 2 重点分野と施策の展開

基本目標及び基本方針をふまえ、3点を重点分野とし、それぞれの分野ごとに施策を展開します。

### 重点分野Ⅰ 県土の強靱性

**激甚化・頻発化する災害に備え、安心して住み続けられる地域をめざします。**

近年、激甚化・頻発化する災害に対応するため、重要物流道路※や緊急輸送道路※などの強化、災害時における関係機関との連携した体制づくりなどを進め、ハード・ソフト両面から災害に強いみちづくりを進めます。また、新たな技術を積極的に活用した効率的な点検や適正な維持管理の実施により、インフラの長寿命化をめざします。

#### SDGsへの貢献

施策(1) 災害に強い みちづくり



施策(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり



施策(3) いつでも安心して移動できる みちづくり



### 重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

**子どもからお年寄りまで、皆が快適に暮らせる、持続可能な地域をめざします。**

人口減少への対応として道路の集約や連携を強化するとともに、環境にやさしい社会の実現のため、公共交通の利用促進や誰もが利用できる道路環境の創出を進めます。

また、道路空間の多様な活用により、歩きたくなるみちづくりをめざします。

#### SDGsへの貢献

施策(1) 誰もが安全に移動できる みちづくり



施策(2) 脱炭素社会の実現に向けた みちづくり



施策(3) 歩きたくなる みちづくり



施策(4) 快適な暮らしを支える みちづくり



### 重点分野Ⅲ 観光や産業の振興

**観光や産業の振興を通して、成熟した豊かな地域をめざします。**

自然を生かした観光や各地域の強みである産業等の支援をさらに進めるため、県内の地域間の周遊性や県内外へのアクセス性の向上をめざします。

また、道路環境整備により、信州を訪れる人が快適で誰もが観光を楽しめるみちづくりをめざします。

#### SDGsへの貢献

施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり



施策(2) ストレスなく快適に移動できる みちづくり



施策(3) 観光を満喫できる みちづくり



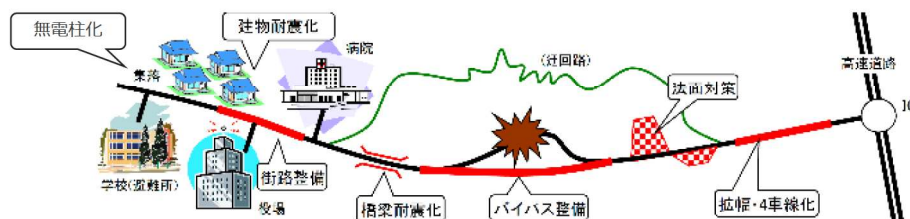
## (1) 災害に強い みちづくり

重要物流道路などの整備や緊急輸送道路の強靱化、土砂崩れや豪雪への対策などにより、災害に強いみちづくりをめざします。

### 施策の展開

- ①重要物流道路や代替・補完路の整備  
(高規格道路のミッシングリンク解消など)
- ②緊急輸送道路の強靱化
- ③災害時における輸送・避難空間の確保 (無電柱化など)
- ④落石や土砂崩落への対策
- ⑤防雪・消雪対策や効果的・効率的な除融雪
- ⑥ラウンドアバウトの整備

#### ● 緊急輸送道路の整備イメージ



#### ● 道路区域外から落石等危険の恐れがある道路法面の調査イメージ



(国)151号 阿南町 落合

#### ● 緊急輸送道路の整備例



(国)158号 松本市 狸平

#### ● ラウンドアバウトの整備例



概念図



高森町 卜市出

## (2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり

災害による影響を最小限に抑えるため、道路の迂回機能の強化や道路情報提供の体制づくりなど災害時の対応を迅速に行えるみちづくりをめざします。

### 施策の展開

- ①災害時における道路の迂回機能の強化
- ②災害拠点としての道の駅の整備（非常用発電設備等の整備）
- ③速やかな道路情報提供の体制づくり（通行止め、迂回路の情報提供など）
- ④災害時における速やかな道路啓開の体制づくり（タイムライン作成など）
- ⑤UAV を活用した災害情報の収集
- ⑥カメラ画像等を活用したAIによる交通障害の自動検知技術の導入

#### ● 道の駅の防災機能強化例



#### ● ICTを活用した道路管理・道路情報提供例 (ライブカメラによる道路状況の確認イメージ)

主要地方道長野須坂インター線
北長池
長野市北長池
2023年5月10日 09:51現在
2023/05/10 09:30:53

#### ● UAV活用イメージ



モバイルながのけん  
道路交通情報  
QRコード



<https://www.pref.nagano.lg.jp/mobile/index.html>

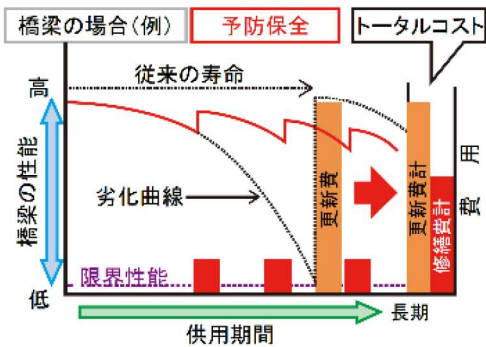
### (3) いつでも安心して移動できる みちづくり

新たな技術を導入した道路の定期点検やインフラメンテナンスの強化により、いつでも安心して移動できるみちづくりをめざします。

#### 施策の展開

- ①長寿命化修繕計画の策定・更新や定期点検の実施
- ②予防保全型のインフラメンテナンスへの転換の推進
- ③新技術を活用したインフラの点検・診断・解析の推進
- ④CIMデータの蓄積による管理システムの効率化・高度化
- ⑤除雪業務の効率化のため除雪機械へのGPS搭載や運転支援システムの導入

● ライフサイクルコストの削減イメージ



従来の事後保全から予防保全・予防管理への転換により維持管理コスト抑制効果等が見込まれる

● 長寿命化修繕計画に基づいたインフラの適正管理例



(国)148号 北安曇郡白馬村 松川橋

● 除雪機械へのGPS搭載イメージ



## (1) 誰もが安全に移動できる みちづくり

歩行者や自転車利用者の安全確保に向けた対策や、高齢者や障がい者などに配慮した道路のユニバーサルデザイン化により、誰もが安全に移動できるみちづくりをめざします。

### 施策の展開

- ① 歩道や自転車通行空間の整備
- ② 生活道路および通学路の交通安全対策
- ③ 踏切道の安全対策
- ④ 歩道のユニバーサルデザイン※化の推進

#### ● 通学路の点検作業の様子

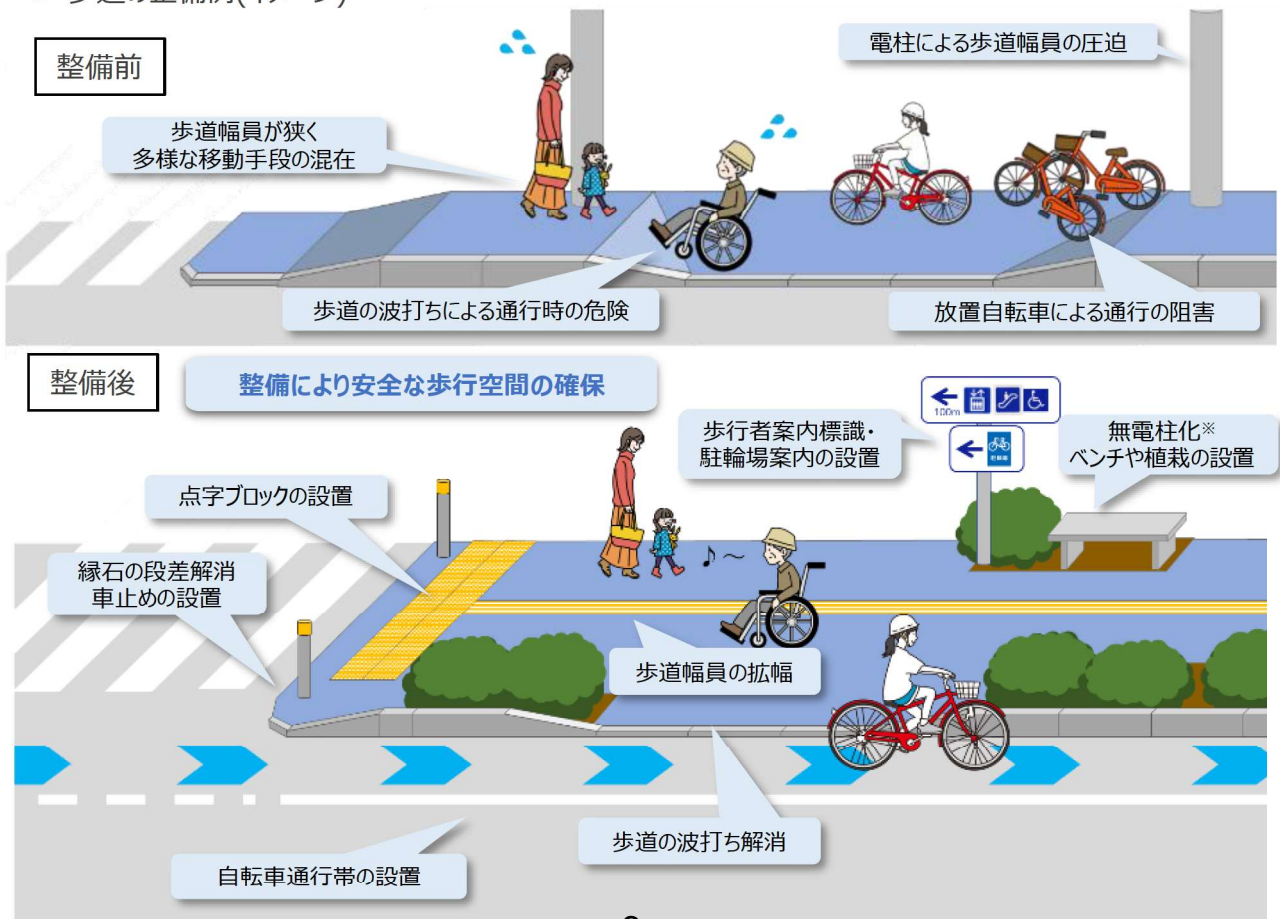


#### ● ゾーン30プラスの事例



塩尻市広丘高出

#### ● 歩道の整備例(イメージ)



## (2) 脱炭素社会実現に向けた みちづくり

自転車や公共交通機関の利用を促進するための道路環境整備などにより、自家用車に頼らず移動ができ、脱炭素社会の実現に貢献するみちづくりをめざします。

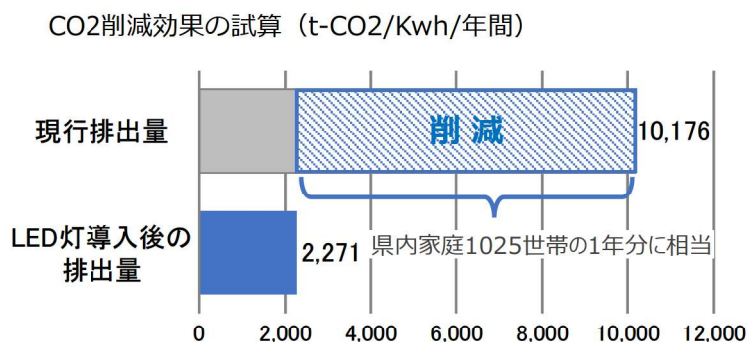
### 施策の展開

- ①都市部における自転車通行空間の整備
- ②バス路線の道路環境整備
- ③ビッグデータなど情報技術を活用した渋滞状況の把握と対策の推進
- ④GXの推進（道路照明のLED化など）
- ⑤EVや自動運転サービスに対応した道路環境整備

● 道路改良とバス停車帯整備のイメージ



● CO<sub>2</sub>削減効果（照明LED化）



● 自動運転サービスの例



塩尻MaaSプロジェクト(バス型自動運転車両)

出典：塩尻市

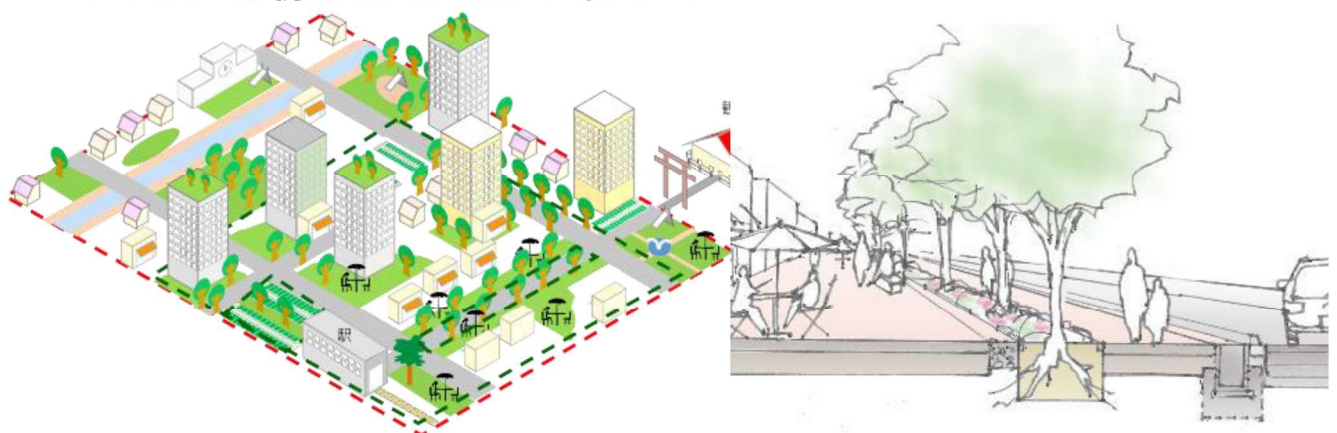
### (3) 歩きたくなる みちづくり

道路空間の柔軟な活用や環境整備、良好な景観形成の推進などにより、歩きたくなるみちづくりをめざします。

#### 施策の展開

- ①信州まち・あい空間による快適で魅力あふれるまちの創出
- ②道路空間の柔軟な活用によるオープン化（ほこみち制度※の活用など）
- ③観光客をひきつける景観の形成・保全の推進（無電柱化※など）

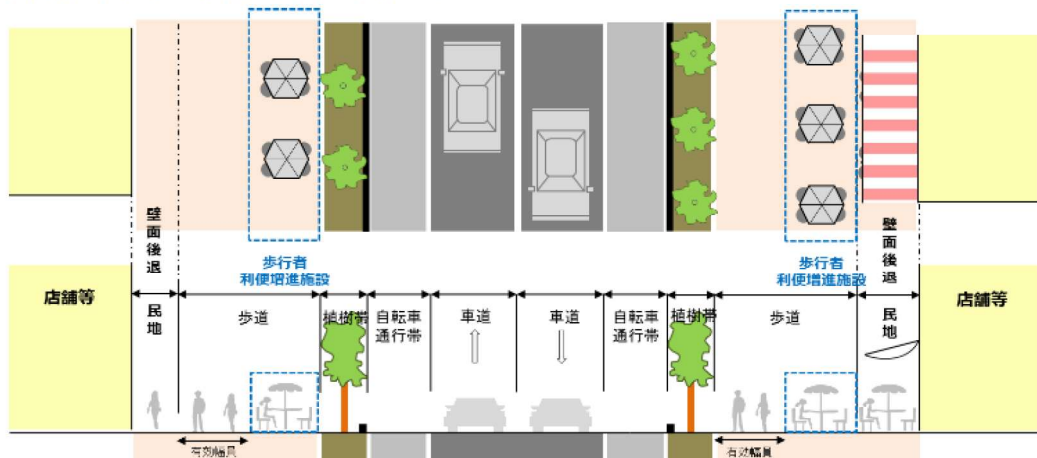
- グリーンインフラと連携したウォーカブルなまちづくりのイメージ



**信州“まち・あい”空間**  
 ～まちなかが、あるきたくなる、いこちの良い空間～  
 ～まちを愛し、まちなかで出会いの空間～



- 道路空間の柔軟な活用によるオープン化のイメージ



出典：信州まちなかグリーンインフラ推進計画～2050年「まち」が「みどり」であふれる～

## (4) 快適な暮らしを支える みちづくり

拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化など地域の実情に応じた道路整備を進めることで、快適な暮らしを支えるみちづくりをめざします。

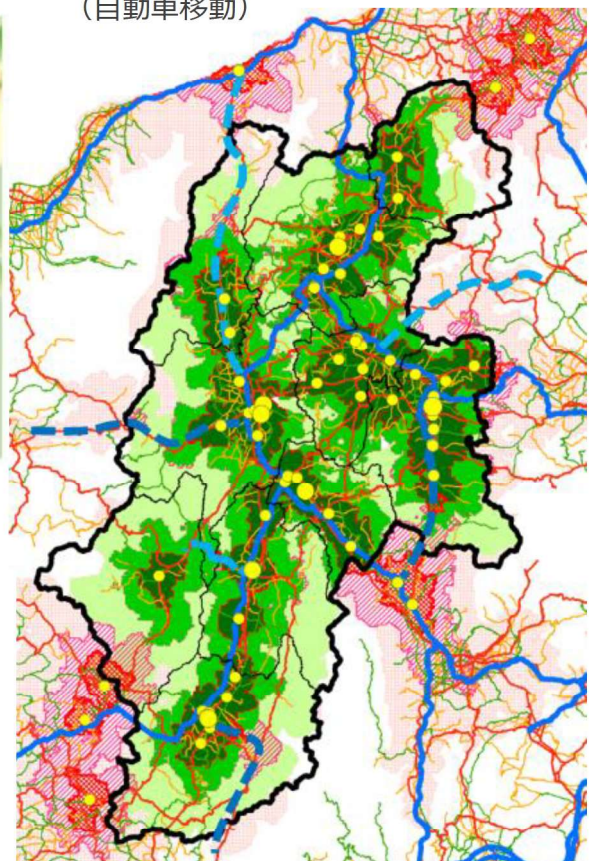
### 施策の展開

- ①都市を形成する市街地道路の整備
- ②都市部や地域の拠点などを結ぶ道路ネットワークの整備
- ③地域の生活を支える道路網の整備
- ④中山間地における1.5車線の道路整備
- ⑤快適な暮らしを支える適切な維持管理

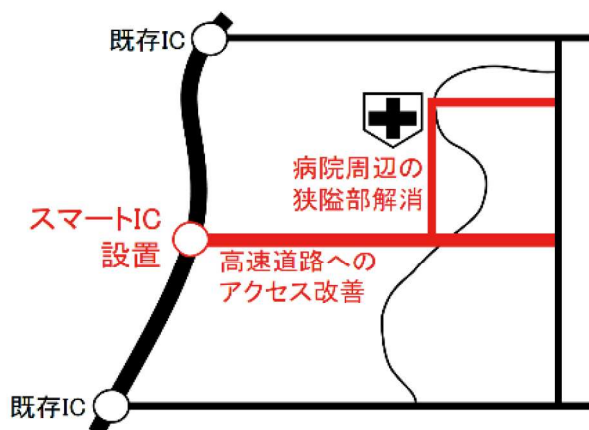
#### ● 道路整備のイメージ



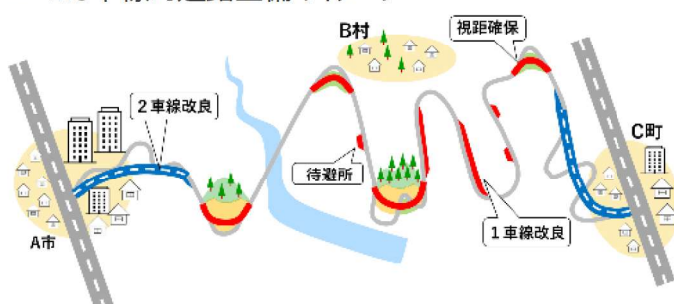
#### ● 医療施設からの到達時間カバー圏域 (自動車移動)



#### ● 地域の生活を支える道路網の形成 (医療施設のアクセス向上のイメージ)



#### ● 1.5車線の道路整備のイメージ



#### 【凡例】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ● 第三次医療施設※    | ● 第二次医療施設※    |
| ■ 現在15分カバー圏   | ■ 現在15分カバー圏   |
| ■ 現在30分カバー圏   | ■ 現在30分カバー圏   |
| ■ 現在60分カバー圏   | ■ 現在60分カバー圏   |
| — 高速道路(現在)    | — 高速道路(将来)    |
| — 地域高規格道路(現在) | — 地域高規格道路(将来) |

【現在】現在道路網

【将来】将来道路網+県外医療施設も含める

高速道路等の延伸 ⇒ 沿線で30分圏域が広がる  
 県境地域 ⇒ 県外医療施設と連携することでさらに広がる

## (1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり

地域間交流や観光の促進、県内産業の更なる発展のため、高速道路等の高速交通網を軸とした交通の円滑化や道路のネットワークの強化により、人・モノ・サービスが行き交うみちづくりをめざします。

### 施策の展開

- ①本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路の整備
- ②リニア中央新幹線※の整備効果を広く県内に波及させるための関連道路の整備
- ③産業・観光および交通拠点へのアクセス性の向上

#### ● 本州中央部広域交流圏※のイメージ



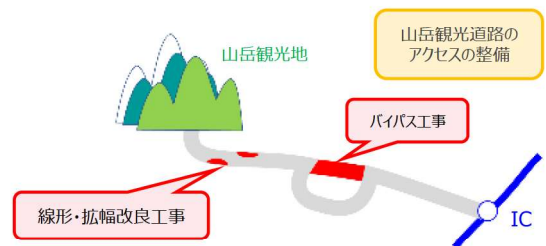
#### ● 県土の骨格となる高規格道路※の例



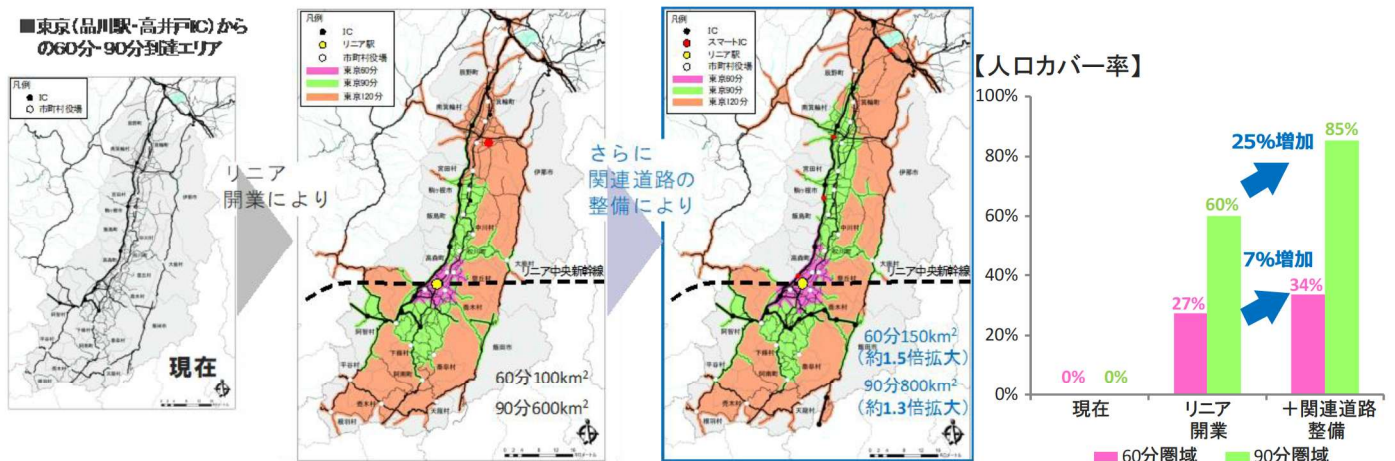
中部横断自動車道

出典：長野県「長野県新総合交通ビジョン」

#### ● 観光地アクセス道路※のイメージ



#### ● 東京からの伊那谷人口カバー圏



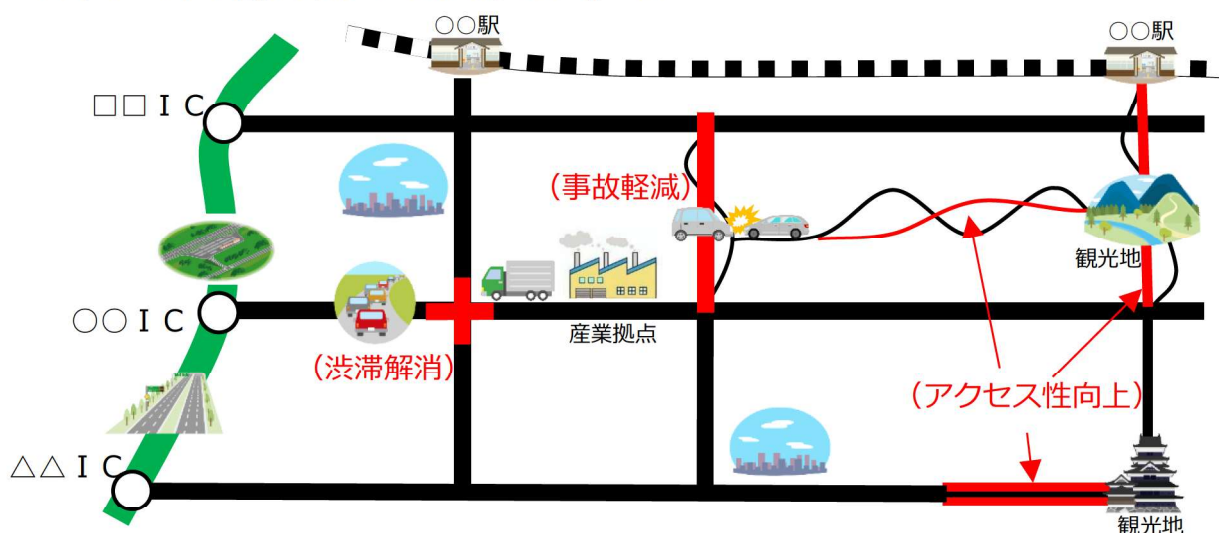
## (2) ストレスなく快適に移動できる みちづくり

道の駅の施設環境や観光地周辺の案内表示の充実により、長野県を訪れる人がストレスなく移動できる快適なみちづくりをめざします。

### 施策の展開

- ①産業の生産性や観光の周遊性を高める道路整備
- ②道の駅への公衆無線LAN設置支援やトイレの快適化
- ③観光地内を快適に移動できる歩行者空間の整備
- ④観光客が快適に過ごすことのできる環境整備(多言語表記の拡充など)

- 産業の生産性や観光の周遊性を高める道路整備の例

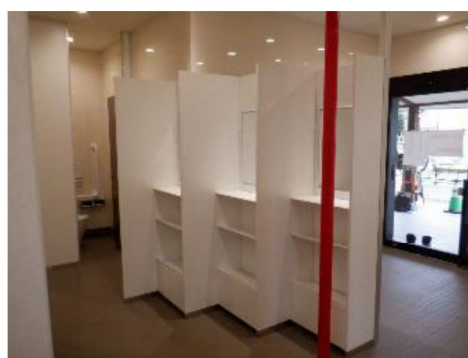


- 観光地内の歩道設置例



塩尻市 ワインロード

- 快適なトイレの例



道の駅 花の里いじま

- 公衆無線LANの設置表示例



「道の駅 SPOT (スポット)」  
道の駅SPOTでは、「道の駅」周辺の交通情報や気象・災害  
情報など、様々な情報にアクセスが可能

- 標識の多言語表示例



### (3) 観光を満喫できる みちづくり

沿道の美化活動等により、長野県を訪れた人が、景観や観光を満喫できるみちづくりをめざします。

#### 施策の展開

- ① 自転車通行空間の整備などによるサイクルツーリズムの推進
- ② インフラの観光資源としての活用(トンネル・峠カード、信州ナビ等の利用)
- ③ 道路美化活動の取組(日本風景街道の活用、アダプト団体等への支援)
- ④ 歩いて楽しめる道路利用空間の創出

- 諏訪湖周サイクリングロード



- 県道富士見台公園線 蓄光石を用いた歩道整備



- トンネル・峠カード



- 信州ナビ



iPhone 用  
QR コード



Android 用  
QR コード



- アダプト団体等の沿道美化活動の様子



- 楽しく歩ける道路利用空間の創出の例



(国)152号 茅野市 あげぼの隧道入口花壇  
信州ビーナスライン花壇「花三昧」

善光寺 花回廊 (長野市)

### 3 施策の目標

重点分野	キーワード	該当する施策
<p>I 県土の強靱性</p>	<p>防災・減災 重要物流道路※ 緊急輸送道路※ 定期点検 長寿命化修繕計画※ 新技術活用・DX ※</p>	<p>(1)災害に強い みちづくり (2)災害対応の迅速化をめざしたみちづくり (3)いつでも安心して移動できるみちづくり</p>
<p>II 持続可能で 快適な暮らし</p>	<p>歩行者・自転車 脱炭素・GX ※ 信州まち・あい空間 無電柱化※ 道路ネットワーク 維持管理</p>	<p>(1)誰もが安全に移動できるみちづくり (2)脱炭素社会の実現に向けたみちづくり (3)歩きたくなる みちづくり (4)快適な暮らしを支えるみちづくり</p>
<p>III 観光や産業の振興</p>	<p>本州中央部広域交流圏※ リニア中央新幹線 産業の生産性 観光の周遊性 道の駅 サイクルツーリズム</p>	<p>(1)人・モノ・サービスが行き交うみちづくり (2)ストレスなく快適に移動できるみちづくり (3)観光を満喫できる みちづくり</p>

## 目 標

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
I-(1)	重要物流道路※等における対策必要箇所の整備	—	0箇所	9箇所 (50%)	18箇所 (100%) 【2035年度末】
	緊急輸送道路※における危険箇所の整備	—	0箇所	57箇所 (62%)	92箇所 (100%) 【2035年度末】
I-(2)	迂回路における大型車の通行に支障をきたす区間の整備	—	0箇所	11箇所 (55%)	16箇所 (80%) 【2035年度末】
I-(3)	緊急又は早期に対策が必要な橋梁・トンネルにおける修繕等の措置完了率	—	橋梁 23% トンネル 75% 【2021年度末】	100%	—

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
II-(1)	H24点検 通学路安全対策箇所整備率	83%	100% (達成)	100%	—
	R3通学路合同点検要対策箇所の整備	—	477箇所	647箇所	—
II-(2)	照明LED化によるCO2排出量削減 (トンネル照明除く)	10,176 t-CO2/Kwh	2,271 t-CO2/Kwh (達成)	2,271 t-CO2/Kwh	—
	道の駅(県管理)へのEV充電設備 設置率	65% (13/20箇所)	71% (15/21箇所)	100%をめざした 設置支援実施	—
II-(3)	「信州まち・あい空間」を創出する地区数	—	0地区	10地区	—
II-(4)	主要医療施設 15分人口カバー率	約85%	87% (達成)	—	87%
	主要医療施設 30分人口カバー率	約97%	98% (達成)	—	98%

施策	整備効果	策定時現状 【2017年度末】	進捗状況 【2022年度末】	目標 【2027年度末】	将来目標
III-(1)	高規格道路※ 15分アクセス圏人口カバー率	約70%	73%	—	約80%
	東京90分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	0%	—	リニア開業 約60% + 関連道路 約85%
	名古屋60分圏域 伊那谷人口カバー率	0%	0%	—	リニア開業 約46% + 関連道路 約59%
III-(2)	道の駅(県管理)への公衆無線LAN※の設置率	40% (8/20箇所)	67% (14/21箇所)	100%をめざした 設置支援実施	—
	道の駅(県管理)のトイレ洋式化率	53% (洋式トイレ数105/ 総トイレ数197)	91% (洋式トイレ数189/ 総トイレ数208)	概ね100% + 快適性向上	—
III-(3)	Japan Alps Cycling Road整備延長	—	約180km	—	約878km

# 4 重点施策

3つの重点分野において掲げた施策のうち、長野県の道路状況や、社会情勢を踏まえ、今後特に力を入れて取り組むべき施策として、5つの重点施策を提示します。

## ❖ 重点施策 1

### 防災拠点へアクセスする重要物流道路※等の機能強化

#### めざす姿

重要物流道路等の整備により、平常時・災害時を問わない安定的な人流・物流を確保します。

#### 整備方針

平常時・災害時を問わず安定的な通行を確保するため、事故危険箇所や渋滞発生箇所について優先して整備します。

#### 対応する施策

重点分野 I 施策（1）災害に強い みちづくり ①重要物流道路※や代替・補完路※の整備

#### 指標

過去5年間に事故履歴のある箇所、著しい渋滞が確認された箇所（計18箇所）の対策を2035年までにすべて完了させます。

	事業箇所数	2027年度末まで (進捗率)	2035年度末まで (進捗率)
重要物流道路※等における対策 必要箇所の整備	18箇所	9箇所 (50%)	18箇所 (100%)

#### 主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
(国)141号	佐久市～小諸市	跡部～平原
(国)153号	伊那市～箕輪町	伊那バイパス
(主)松本環状高家線	松本市	神林～和田
(国)403号	長野市	綿内



(国)141号 佐久市～小諸市 跡部～平原 (浅蓼大橋)



(国)153号 伊那市～箕輪町 伊那バイパス



## ❖ 重点施策 3

### 重要物流道路のダブルネットワークを補完する 広域的な迂回機能の強化

#### めざす姿

近年、激甚化・頻発化する災害等から、緊急車両の通行確保や物流を含む道路利用者への影響を最小限にするため、道路の迂回機能を強化します。

#### 整備方針

- (1) 重要物流道路※に対して設定した迂回路において、大型車の通行に支障をきたす区間を整備します。
- (2) 近年の災害時に設定した迂回路において、すれ違いが困難で通行の支障となった箇所を整備します。

#### 対象路線

重要物流道路※		迂回路線	対象範囲	対策必要 路線の有無
高規格道路※	直轄国道等			
長野自動車道	(国)19号 (長野地域)	(国)403号 他	安曇野市 ~ 長野市	○
-	(国)19号 (木曽地域)	木曽川右岸道路、 伊那木曽連絡道路	南木曽町 (岐阜県境) ~ 塩尻市	○
中央自動車道	(国)153号	(主)下諏訪辰野線、(主)飯島飯田線 他	塩尻市 ~ 根羽村 (愛知県境)	○
中央自動車道	(国)20号	(主)岡谷茅野線、 (主)茅野北杜韭崎線 他	茅野市 (山梨県境) ~ 岡谷市	-
上信越自動車道	(国)18号	(主)長野上田線、(主)小諸上田線 他	軽井沢町 (群馬県境) ~ 長野市	-
上信越自動車道	(国)117号	(国)292号、(主)中野豊野線 他	長野市 ~ 飯山市	○

近年の災害時に  
設定した迂回路

迂回路線	対策必要 路線の有無
今後の災害により変動する可能性があります (主)長野信州新線、(主)信濃信州新線、(主)長野大町線 他	○

#### 対応する施策

重点分野 I 施策(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり

①災害時における道路の迂回機能の強化

#### 指標

現地を確認し、特に緊急性の高い16箇所の対策を2035年度末までに完了させます。

	事業箇所数	2027年度末まで (進捗率)	2035年度末まで (進捗率)
迂回路における大型車の通行に支障をきたす区間の整備	20箇所	11箇所 (55%)	16箇所 (80%)

#### 主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
国道19号関連(木曽地域)		
(一)上松南木曽線	大桑村～南木曽町	読書ダム～戸場
(一)上松南木曽線	大桑村	殿～阿寺

## ❖ 重点施策 4

### 本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路の整備

#### めざす姿

高速交通網等やアクセス道路が整備され、都市と地方の交流や観光の促進、県内産業の更なる発展をめざします。

#### 整備方針

- (1) 高速交通網の整備効果を最大限に活かして県内外の交流拡大を実現するため、高規格道路等のミッシングリンク解消を推進します。
- (2) リニア整備効果など都市と地方の交流の促進を広く県内に波及させるため、交通拠点へのアクセス道路※を整備します。

#### 対応する施策

重点分野Ⅲ 施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり  
 ①本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路の整備

#### 指標

高規格道路の15分アクセス圏カバー率約80%を達成します。

	中間評価時点 (2022年度末)	将来目標 (進捗率)
高規格道路※ 15分アクセス圏人口カバー率	73%	約80%

#### 主な整備中の箇所

路線名	箇所名	
高規格道路※等		
伊那木曾連絡道路(姥神峠道路(延伸))		
松本糸魚川連絡道路(安曇野道路)		
(国)143号	松本市～青木村	青木峠バイパス
三遠南信自動車道		現道活用区間(小嵐バイパス)



伊那木曾連絡道路(姥神峠道路(延伸))



松本糸魚川連絡道路(安曇野道路)

